



令和2年8月26日

担当課	企画課・観光課
担当者	山中・岩阪
電話	(073) 435-1015 (073) 435-1234
内線	2441・3081

友ヶ島の海岸漂着物調査について

友ヶ島内の一部海岸で散見される漂着物については、景観面での阻害のみならず、海洋汚染にもつながっており、本市においても大きな課題であることから、昨年度より大阪府立大学の千葉知世准教授とともに漂着物調査に取り組んでいるところです。



友ヶ島における海岸漂着物

今般、千葉知世准教授が代表理事を務める一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会（KATIES）による、友ヶ島の海岸漂着物に関する本格的な調査・研究が始まります。

友ヶ島内に調査地点を設置し、海岸漂着物の現況と発生源等に関する調査を定期的に行う予定としており、本市としてもこれに連携し、課題解決へつなげていきます。

【予定】

令和2年8月27日（木）～28日（金）⇒友ヶ島に調査研究型区画枠の設置等

参加者 一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会

花王リサイクル科学研究センター

関連記事 [【https://meti-journal.jp/p/11094-2/】](https://meti-journal.jp/p/11094-2/)

和歌山市

和歌山市立松江小学校児童（5年生）70名

当日の調査予定地点

沖ノ島 北垂水・南垂水（右図）



一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会組織概要

【構成メンバー】

代表理事

千葉 知世氏 大阪府立大学人間社会システム科学研究科 准教授

理事

稲野 雅則氏 加太観光協会 会長

杉田 峻介氏 あすなる法律事務所 弁護士（大阪弁護士会）

中西 敬氏 徳島大学環境防災研究センター 客員教授

西田 貴明氏 京都産業大学生命科学部 准教授

平井 研氏 ㈱総合水研究所/和歌山県環境学習アドバイザー

【概要・目的】

友ヶ島および加太を拠点に、海洋廃棄物問題の調査研究と、大阪湾の流域ガバナンスの改善に取り組む専門家集団。海洋環境問題への取組を軸足としながら、地域経済循環を促進し、持続可能な開発目標（SDGs）に取り組む企業や行政、地域社会を支援する。

【現在の活動内容】

- （1）友ヶ島の漂着ごみの現存量、流路、発生源等に関する調査
- （2）友ヶ島の貴重生態系の評価に関する調査
- （3）海洋ごみの資源化・利活用にかかる企業との協働研究
- （4）教育機関による課外学習活動、企業研修等の受け入れ